

## 第 67 回 日本唾液腺学会総会・学術集会報告

会長：谷村明彦（北海道医療大学・歯学部・薬理学分野）

副会長：浦野 誠（藤田医科大学・ばんだね病院・病理診断科）

2023 年 11 月 25 日(土)に、第 67 回日本唾液腺学会総会・学術集会を国際ファッションセンタービル（東京都墨田区）にて開催いたしました。本年度の学術集会は、4 年ぶりに対面のみでの開催となり、おかげさまで、102 名と数多くの方にご参加をいただき、盛会のうちに終了することができました。唾液および唾液腺に関連する基礎研究、臨床研究、診断、企業などの幅広い分野・職種の参加者の様々な視点から、活発な意見交換や情報共有ができたと思います。

今回の学術集会では、唾液を使った測定法や検査法をテーマとした特別講演とシンポジウムを企画いたしました。特別講演として杉本 昌弘教授（慶應義塾大学政策・メディア研究科）から「唾液のメタボローム解析による分子マーカーの探索」と題したご講演をいただきました。杉本先生からは、マスマスペクトロメトリーをつかったメタボローム解析によって唾液中のがんマーカーを同定する原理や、がんのリスク診断法の開発に至った経緯や今後の展開についてお話いただきました。また唾液サンプルに関して、その利点に加えて、個人差を含む難しさや課題などについてもご意見をいただきました。



また大会長企画シンポジウムとして、「唾液を用いた検査・診断法の実際と今後の展望」と題して、唾液を使った検査として実用化している企業から、SARS-CoV-2 抗原検査への唾液検体の適用（富士レボ株式会社）、LC-MS/MS による唾液中ステロイドホルモン測定について（株式会社あすか製薬メディカル）、小さなリスクを見逃さない



い〜唾液 1 滴でできるがんリスク検査（株式会社サリバテック）というタイトルでお話をさせていただきました。このシンポジウムで、生体サンプルとしての唾液の有用性とその社会貢献について改めて実感することができました。特に杉本先生が開発したがんリスク診断法を実用化した（株）サリバテックの創業者であり、がんの治療にも携わってきた医師でもある砂村 眞琴先生のお話には説得力があり、研究成果の社会実装の重要性を改めて認識する機会となりました。会場内には上記企業の展示スペースが設置されており、実際の製品や情報を前にして、担当者からの説明を受ける参加者も見受けられました。

さらに、企業共催ランチョンセミナー（アース製薬株式会社共催）では、阪井 丘芳教授（大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能治療学講座）から「除菌消臭成分 MA-T を用いた口腔ケア用品の社会実装とがん臨床への展開」と題してご講演いただきました。感染症への予防対策や口腔ケアに加えて大腸がんの治療にも有効であるという MA-T の新たな可能性について知ることができました。この MA-T は、2024 年 2 月に、第 6 回オープンイノベーション大賞の最優秀賞である「内閣総理大臣賞」を受賞しました。



一般演題は、「基礎的研究」13 題、「臨床的研究および病理診断学的研究」13 題、「症例検討」4 題の計 28 題と、例年なみに多くの申し込みをいただきました。その中から学会奨励賞（45 歳以下）として、「基礎的研究」部門から池田 裕之介先生（岩手医科大学・歯学部・顎顔面再建学講座口腔外科学分野）「唾液腺腫瘍モデルマウスの確立とその応用」、「臨床的研究および病理診断学的研究」部門からは平井 秀明先生（東京医科大学・人体病理学分野）「唾液腺導管癌では LAT1 発現が抗 AR 療法の治療効果予測因子となり得る」が選ばれました。学会賞受賞に相応しい素晴らしい発表でした。奨励賞以外の発表もいずれも興味深い内容であり、会場では活発な討議が行われました。特に、今回の学術大会では発表・質疑応答時間を 15 分に設定しました。4 年ぶりの対面のみでの学会ということもあり会場では活発な討議が行われ、唾液および唾液腺研究の重要性を研究者同士で再確認する良い機会となりました。

また総会では、日本唾液腺学会役員の新体制として以下の先生方が承認されましたので、よろしくお願いいたします。

- 理事長：長尾 俊孝
- 副理事長：阪井 丘芳
- 常務理事：吉垣 純子
- 理事：天野 修、今井 あかね、浦野 誠、大上 研二、多田 雄一郎、谷村 明彦、美島 健二、湊 宏、山村 幸江
- 監事：岩井 大
- 事務幹事：中黒 匡人

最後になりましたが、本学術集会の開催の機会をいただきましたことに深く感謝いたします。次回、第 68 回学術集会は、浦野 誠教授（藤田医科大学・ぼんたね病院・病理診断科）が会長を務め、2024 年 12 月 7 日（土）に同じく国際ファッションセンターで開催されます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。